

3

ようたさんたちは、分数のたし算について考えています。

(1) $\frac{1}{3} + \frac{2}{5}$ の計算をしましょう。

(2) ようたさんたちは、 $\frac{1}{2}$ L と $\frac{1}{4}$ L を合わせると何Lになるのかを考えています。

式は、 $\frac{1}{2} + \frac{1}{4}$ になることがわかりました。



1L を  とすると、 $\frac{1}{2}$ L は  と表すことができますね。



わたしも、 $\frac{1}{2}$ L を  と表して考えようと思います。

ようたさんたちは、 $\frac{1}{2} + \frac{1}{4}$ について、図をもとに考えました。



答えは $\frac{3}{4}$ L になりました。



$\frac{2}{6}$ L ではないのかな。

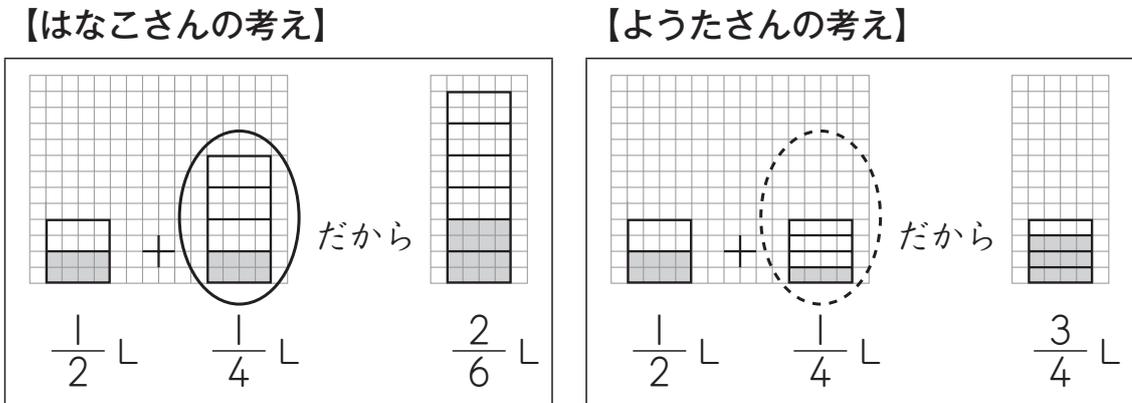


$\frac{2}{6}$ L だとすると、 $\frac{1}{2}$ L と $\frac{1}{4}$ L をたしているのに、 $\frac{1}{2}$ L より小さくなっていますよ。



本当ですね。 $\frac{1}{2}$ L は1Lの半分だから、半分よりも小さい $\frac{2}{6}$ L になるのは、おかしいですね。

はなこさんは、【はなこさんの考え】と【ようたさんの考え】を見て、
 【はなこさんの考え】の中の○を、【ようたさんの考え】の中の○の
 ように直す必要があることに気付きました。



1Lの大きさを と表すとき、【はなこさんの考え】の中の○は、
 【ようたさんの考え】の中の○のように直さなければいけません。

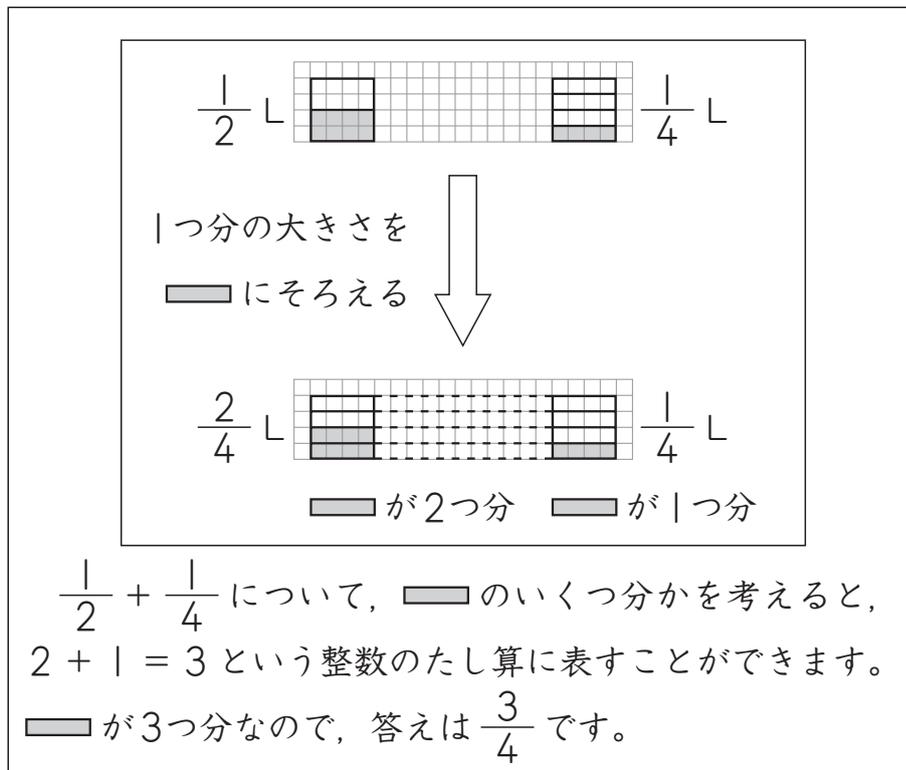
【はなこさんの考え】の中の○を直さなければいけないわけを、次の
 ようにまとめます。

【ようたさんの考え】の中の○のように、
 ア Lを4等分しなければいけないのに、
 【はなこさんの考え】の中の○は、
 イ Lを4等分しているからです。

上の文の ア, イに入る数を書きましょう。

(3) 次に、はなこさんは、 $\frac{1}{2} + \frac{1}{4}$ について、下のようになっています。

【はなこさんの計算の仕方】



【はなこさんの計算の仕方】 の中の、1つ分の大きさの〇は、どれも同じ大きさで、次のように説明することができます。

1つ分の大きさの〇は、 L を表しています。

上の文の に入る数を書きましょう。